

市民カメラマンフォトポ

今号は、市民カメラマンの杉岡光昭さんの写真を紹介します。市ウェブサイトでは、たくさん
の写真を公開しています。ぜひ、ご覧ください。



2/5 鵜沼宿のひな祭り

2月5日から3月8日までの1カ月間、中山道鵜沼宿で「鵜沼宿のひな祭り」が開催され、初日に訪れました。脇本陣と旧武藤家に入ると、多数のお雛様と吊り雛が絢爛に飾られており、圧倒されました。

2/5 フレイル予防イベントを開催

市は、フレイル予防を呼びかけるため、フレイルに関する展示やイベントを開催。この日は「社会参加」のきっかけとして、健康マージャン体験会が開催されました。

参加した福井浄三さんは「外出するきっかけとして参加しました。マージャンをしながら、周りの方とたくさん話すことができました」と、体験を楽しんでいました。



2/12 災害時の物資輸送に関する防災訓練を実施

市は、災害時の協定を結ぶ2つの団体と、共同の災害時物資輸送訓練を実施。訓練では地震発生後に、協定企業が合流したことを想定し、防災備蓄倉庫から協定企業のフォークリフトを市と企業で併用し、物資をトラックに積み込みました。

参加した市職員は、「災害に備え訓練を増やし、スムーズに対応できるようにしたいです」と、今後を見据えました。

2/13 市役所仕事説明会「市職会」を開催

市職員を目指す方向けの仕事説明会「市の職員に会おう」を開催。行政・土木などの職員がブースを設けました。

この日、社会人や大学生約40人が会場を訪れ、職場の雰囲気などを質問しました。参加した方は、「参加しないと聞けない話を聞いて、参考になりました」と、市役所で働くことへの意欲を見せました。



各務原



各務原で働く「しごとびと」を紹介します。移住定住ウェブサイト（OFK）では、より詳しい内容がご覧になれます。



Q どんな仕事をしているの？

119番通報を受けて出動し、消火・救助活動を行います。出動がない時には、訓練や機材の点検などをして、緊急出動に備えています。

Q この仕事のやりがいは？

出動した現場で、無事に救助できたときや、市民の方から感謝の言葉をいただいた時に、この仕事のやりがいと責任の重さを感じます。

Q 大切にしていることは？

消火や救助を迅速かつ確実にを行うには、同じ部隊の仲間との連携が欠かせません。そのため、普段から隊員同士で、コミュニケーションを取り、チームワークを大切にしています。



消防士

市西部方面消防署

土屋 良真 さん



第2回みどり戦略学生チャレンジ全国大会 農林水産大臣賞受賞

やまぐち はるか
山口 遥さん

東海学院大学3年生。最近は、ミステリーの本を読むことにハマっています。

持続可能な社会を実現するために

農林水産省が開催した「みどり戦略学生チャレンジ全国大会」で、東海学院大学医療栄養学科の山口遥さんが代表を務めたプロジェクトチームの取組が、最も栄誉ある農林水産大臣賞を受賞しました。

みどり戦略学生チャレンジは、大学生や高校生などが、食料・農林水産業の生産性向上と持続性の両立について実践する大会。今回の受賞に、山口さんは、「先輩たちの代から取り組んできた活動がこのように評価されて、とてもうれしかったです」と語ります。

今回、山口さんのチームは、食料品の調達から消費までの「脱炭素化」をテーマに活動。これまでに産学官の連携で商品化した、市特産品の各

務原にんじんを使用した「生彩弁当」に、植物などの再生可能な資源を素材とするバイオプラスチックを弁当容器に使用しました。また、バイオプラスチックマークを考案し、表示することで、消費者も脱炭素化について意識を高めてもらう取組を行いました。

「バイオプラスチックを弁当容器に採用するのに、価格の観点から企業と丁寧に調整を重ねる必要がありました。連携する企業の意向を脱炭素化にまとめて進めていくことが大変でした」と、山口さんは振り返ります。

今後の目標は、「消費者の意識だけでなく、行動の変化にもつながれる方法を考え、実践していきたいです」と話す山口さん。これからも地域や社会の課題解決のため挑戦を続けます。

